

城山

発行所 長野市立城山公民館
 電話 232-3111
 編集人 小林洋子
 発行人
 印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (29・11・1)
 第1地区…2,810
 第2地区…5,356
 合計…8,166世帯

「集まれ子どもたち！ 城山公民館へ」

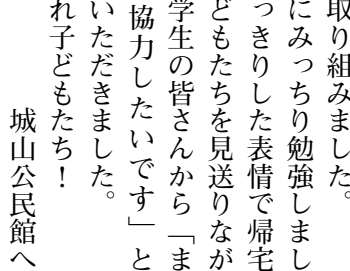
地域の子どもたちから「毎日たくさん車が止まっているけれど、城山公民館は何をする所なの？」という素朴な疑問を投げかけられました。回覧板やホームページ等で公民館の活動の様子をお知らせしていますが、なかなか子どもたちが目にする機会はないのだと思います。また、地域の子どもたちにとっても、城山公民館は、身近に感じられる場所ではないのが現実のようです。そんな課題を解決するためには、子どもの頃から城山公民館の企画に参加して親しむ中で、子どもたちに身近なものに感じてもらえることが大切なのではないかと考えました。

そこで、今年度、初めて小中学生を対象とした企画を試みました。

一子どもミステリーツアー 戸隠公民館と共催で、小学生を対象に、どこへ行って何を行うかは知らせない「子どもミステリーツアー」を企画しました。城山公民館区から23人、戸隠公民館区から13人参加し、戸隠で交流しました。何をやるか分からないワクワク感の中、無農薬野菜を摘んで食べ「甘い！」と感動したり、耳を澄まして自然の音を聞く体験をしたりする中で、子ども同士仲良く交流しました。お子さんを参加させた保護者の皆さんから、とても興味深い企画で、続けてほしい



二夏休み集中勉強会 信州大学の学生さんの協力のもと、8月7・8日の2日間、午前9時～午後4時まで勉強会を行いました。大勧進の和尚様に集中力を高める座禅を教わっていただいたり、夢をあらためないお話を地域の方からお聞きしたりしながら、8人の大学生に教えてもらい、夏休みの課題に小中学生22人が取り組みました。本当にみっちり勉強しました。すつきりした表情で帰宅する子どもたちを見送りながら、大学生の皆さんから「また是非協力したいです」と言っていたいただきました。集まれ子どもたち！ 城山公民館へ



『小さな記念樹』

小林 織絵

大きな木の下にひっそりと佇んでいる赤ちゃんの木。小さくても根はしっかりとついて、1歳と3歳の息子と根を傷つけずに掘り起こすのはとても大変でした。

講座で作る家族の記念樹とはどんなに素敵なものなのか期待を膨らませながら、その日を迎えました。

根の土を落とす作業の中で、息子がミミズを見つけて私が大騒ぎ。植え付けの際、木の曲がり矯正せず針金で支え個性として生かすと先生から教わり、木に対する優しい思いを感じさせられました。

管理は少し大変かなと思いましたが、館長が盆栽も子育てと同じだと教えてくださり、私自身、肩肘張らず「彼らの個性が大きく枝を伸ばせるように、側で支え優しく見守りたいと思います。



あひるくらぶ「親子で記念樹を作ろう」

私たちの住む地域を 知る事で減災は可能

角田 裕

9月6日、城山公民館主催「我が地域の防災を考える」の地震豪雨災害にむけての講演会に参加いたしました。気象・地質・栄村災害体験者・長野市危機管理防災課の方々がパネラーとして講演をしてくださいました。近年何十年に一度の豪雨や何十年住んで居るけれども経験した事が無かった等の声を聞く事が多くなりました。これまで大規模災害が無かった長野市も災害が起こりうる事を認識し、先ずは自分の身は自分で守るためにも日頃の備えが大切であり、地形、道路、公共施設、防災拠点、避難所、場所等町の特性を知る事の必要性を改めて学び、地震・豪雨の自然災害時には、それぞれの行動を個人、地域で想定し避難訓練を実施していれば減災は可能だと確信いたしました。



市民講座「我が地域の防災を考える」

夜の成人学校の紹介

帰路を急ぐ人々が街に増えていく時間帯。城山公民館に急ぐ人々がいます。夜の成人学校へ通われている皆さんです。中には、一日のお勤めでお疲れの方々もいらつしやるのではないのでしょうか。ですが、大変充実した表情で通って来られます。「先生のお人柄と指導が魅力で、遅刻しても通っています」と話してくださる方がいました。

今回は、火曜日と木曜日の夜に行われている4つの成人学校を紹介します。

火曜夜 茶道

茶道の時間

黒岩 雅子

日々仕事に家事にと慌ただしい毎日のなかで、茶道の時間だけは穏やかな時間が流れていきます。お客様を想い丁寧に関心をこめてお茶を点てる。静かな空間で一服いただく心が和らぎ、お抹茶の味に清々しい気持ちになれます。

先生、先輩方からは茶道だ



けでなく豊富な人生経験より多くの事を教えていただき、新しい、新しく加わった仲間からは、真剣に学ぶ姿に自分も頑張ろうと発奮させられます。週に一度の豊かな学びの時間です。

火曜夜 書道

書道講座を受講して

傳田 心順

書道講座を学び始め5年目になりました。成人学校で一色白泉先生から書道を学べる事を知り、是非習いたいと思つたのが受講のきっかけです。それまでの書道は、お手本を見て同じように書く事を学んでいました。しかし、お手本無しで書くように言われると全く書けません。書は字の形、線の形、間の形をお手

本から学び、自分の物にする事だと先生から教わりました。なかなか上手に消化しきれませんが、じっくりとかみしめ味わいながら進んで参りたいです。



火曜夜 洋画「人物画」

授業から大きな喜びを得て

小野 寛子

同じ事を追究する者同士、すぐに打ち解け親しくなれます。これも大きな喜びです。老後の楽しみを、この成人学校で人物画を描く事から、大きく広げていける様に思います。9年目の私は、学校で描いた椅子に座す人物像を中心に、来年4月19日から個展を開く予定です。夢はこの成人



学校から大きく広がります。生涯学習とよく言われますが、自己実現できる場が、地域の中にあることを、本当に幸せに思い、感謝の念に尽きません。

火曜夜 太極拳

「成人学校」結構いいね

倉澤 伸夫

やっていることのイメージが全く湧かない未知の世界。最初の一步を踏み出すのには勇気がいりました。それから、早いもので、夏暑冬寒の蔵春閣に通つてもう7年目。何かと忙しい人が多く、全員揃うことは滅多にありませんが、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく学んでいます。太極拳は奥が深く、何年やっても到達点は見えませんが、今では、心身安定の大切な時間となっています。優しくもあり厳しくもある先生の丁寧な指導の下、まずは立身中正。



40回 城山公民館成人学校 作品展のお知らせ

歴史と伝統の城山公民館成人学校の作品展は本年度で40回を迎えます。受講生の熱演や力作の数々を、多くの皆様にご鑑賞いただきたくお知らせいたします。

1期 日

平成30年2月24日(土)

2月25日(日)

2時 間

午前9時30分～午後3時

3会 場

城山公民館本館・別館ホール

4内 容(予定)

「展示」やさしい洋裁、洋画、書道「写経入門」、水彩画上級、書道、楽しい日本画とスケッチ、四季をたのしむ盆栽、木版画、着物をりフォーム、水彩画初級、洋画「人物画」、パッチワーク、キルト、華道初級、書道初級、城山俳画クラブ
「ステージ発表」
太極拳、謡曲初級、たのしいハーモニカ教室、ハワイアンフラ入門、実用英会話入門、古典文学

「茶道点前」

作品展のチラシは2月の

「囲碁対局」

回覧でまわす予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

足もとから知る わが町の成り立ち

連載⑤「地すべりとバードライン」

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

善光寺の裏側に、かつて観
光用のロープウェイがあり
ました。その終着駅となつて
いたのが「地附山」です。志
賀高原から浅間山までを背景
に、善光寺平を一望に臨める
場所で、現在は「防災メモリ
アル地附山公園」となってい
ます。この公園ができるきっ
かけとなった災害を振り返つ
てみましょう。

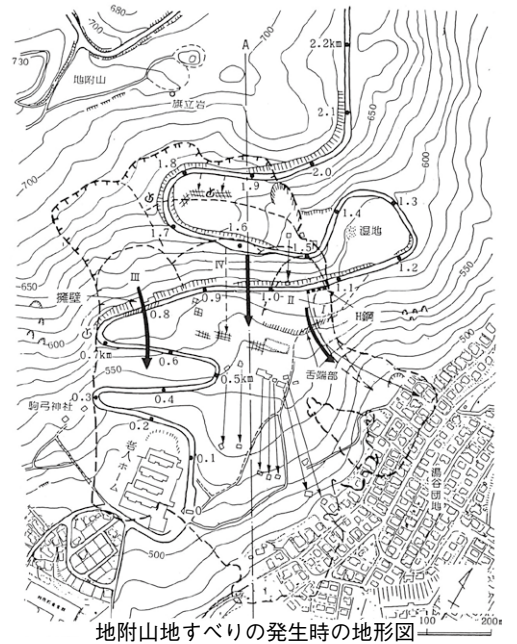
昭和60年(1985)7月
26日、地
附山の南
東斜面で
大きな地
すべりが
発生しま
した。す
でにその
4年前頃
から、戸
隠バード
ライン
で道路の



地すべり発生直後の地附山

亀裂や側溝の変形などが発
生し、地すべりの兆候が認
められていました。この年
6月から7月にかけて総雨
量447mmにもおよび記録
的な降雨が引き金となり、地
すべりが動きだし、崩れだ
した土塊が一気に湯谷団地を
襲つたのです。この時、避難
が遅れた老人ホームで26名
の犠牲者がでてしまいました
。最終的に、地すべりは長
さ700m、幅500mま
で広がり、地すべり面の最大
深度60m、崩れた土砂量は
約360万m³に達しました。
テレビでもその様子が中継さ
れ、崩れていく道路や次々と
家を飲み込んでいく地すべり
の怖さを目の当たりにした記
憶を持つ方もいることでは
う。

山灰、溶
岩などが
厚く堆積
した地層
です。こ
の凝灰岩
層は、約
50万年前
から長野
盆地の西
縁断層の
激しい動
きで隆起
したので、長野盆地の縁に
沿って露出しています。硬い
溶岩や凝灰角礫岩の部分が險
しい山となつていて、県庁の
裏にそびえる旭山をはじめ大
峰山、三登山などもこの「裾
花凝灰岩層」でできています。
断層の動きで急激に隆起し
たこともあり、この地層中
にはび割れが多く生じた場所
もあります。170年前の
善光寺地震でも各所でび割
れが生じました。そこから水
がしみこんで岩石の風化が進
み、粘土化して地すべりを
起こしている部分もありま
す。篠ノ井の「茶臼山地すべ
り」もその一例です。地附山
の古い地図をみると、かつて
地すべりを起こした場所だっ
たことがわかります。その結
果、周囲よりなだらかな地形



地附山地すべりの発生時の地形図

となつていたため、戸隠へ続
く観光道路を造る際この場所
が選ばれたものと考えられま
す。しかも、地質的には「裾
花凝灰岩層」の中に泥岩の地
層がはさまれていた部分でも
あり、さらに長野盆地側に地
層が傾く構造になっていまし
た。こうした素因がいくつも
重なつた場所で、そこに梅雨
末期の大量の降雨が一気に加
わつたため、これほど大規模
で驚異的な速度で滑り動いた
ものと考えられます。
大地の成り立ちに学び、そ
の土地にあつたやり方で付き
合うために「人はもつと自然
に学ばなければ…」という大
きな教訓を残した災害でし
た。公園を散歩する際には、
そうした歴史も学んでほしい
と思います。

平成29年度 10地区合同 成人式のご案内

第一地区・第二地区管内
(城山公民館管内) の新成
人対象の成人式を10地区合
同で執り行います。ご参加
ください。

1 該当者

平成9年4月2日から
平成10年4月1日まで
に生まれた人

2 日時

平成30年1月7日(日)
受付 午前9時30分
恩師を囲む会
10時～10時20分

3 会場

10時40分～11時20分
長野市芸術館

4 主催

第一～第五、芹田、古牧、
若槻、浅川、小田切地区成
人式実行委員会と管内の住
民自治協議会

5 参加方法

本人の住民票が地区管内
にある人には、12月初旬に
案内状と受付整理券を郵送
しますので、当日ご持参く
ださい。

なお、該当者で住民票が
市にない方でも、当日(案
内状等なしで)参加できま
す。お問い合わせは城山公
民館へ。☎232-1311

城山公民館 歴史シリーズ(全4回) 「さよなら、蔵春閣」③

ぞうしゅんかく

昭和42年(1967)5月に開館した「蔵春閣」は、多くの方々の様々な思い出を紡いできました。

一 ダンスパーティー

社交ダンスのサークルは現在8つあり、その中で、20代でダンスを始め、映画「シャル・ウィ・ダンス？」の影響で50代になって再び始めた方から、お話を聞きしました。実は、社交ダンスには木の床が適していて、石でできていた蔵春閣1階ホールの床はダンスに向いていないのだそうです。ですから、「蔵春閣」には社交ダンスを楽しむながら、仲間の輪が広がることを願っている人々が集うのだそうです。ところが、床に5mm程のコンセン

トのふたが何か所もあり、ダンスの最中に、ズンズンと音が響いて転ぶことがしょっちゅうあったので、お願いして平らにしても



らったこともあるそうです。また、忘れられない出来事として、冬、ジェットヒーターをたいて、ダンスをしていたときの話をしてくださいました。音楽にのってダンスを楽しんでいた女性がジェットヒーターのそばに近づいた瞬間、薄い化繊のドレスに引火し、燃えたことがあるそうです。慌てて、みんなで火を消し、大事に至らずに済んだといっています。

二 結婚式の思い出

現在は、長年続けてきた社交ダンスの仲間と、ダンスのできる宿を見つけて、温泉旅行を楽しんでいるそうです。

昭和43年3月11日「信濃毎日新聞」の前日県内は結婚式ラッシュだったという記事に、「蔵春閣」で行われた結婚式の写真が掲載されました。その写真に写っている若いご夫婦も「蔵春閣」と同じ、50年目の金婚式を迎えました。そのときのお嫁さんにお話をお聞きすることができました。自宅で花嫁の支度をし仏壇の前に座り、戦死して顔も知らない父親に「これからお嫁に行きます」と挨拶をして

「蔵春閣」へ向かったそうです。とにかくカツラがものすごく重くて大変だったそうですが、長年文通をしていた友人が東京から来てくれたことがうれしかったそうです。式を挙げた4階の神殿は、真新しく本当にきれいだっただけです。披露宴は1階ホールで行い、ステージの前に屏風が広げられ、新郎新婦が座りました。鯛のお頭付きの折り詰めが当たり前の時代で、懐かしく思い出されるそうです。この日は、「蔵春閣」で4組の結婚式が行われたそうです。「あれから半世紀になるのですね」と、しみじみと語られました。



信濃毎日新聞に掲載された結婚式



三 思い出を紡いで

平成9年1月まで、「蔵春閣」で第一地区と第二地区地域の「成人式」が行われていました。多くの新成人が、この「蔵春閣」

で、決意を新たに大人への一歩を踏み出しました。まだまだだ、語り尽くせない思い出と共に「蔵春閣」は50年間歩んできました。現在は、1階ホールのみを公民館で使用していますが、多くの市民の皆さんに、今も親しまれ活用されています。役目を終える日まで、「蔵春閣」の歩みをしつかりと見届けていきたいと思っています。

あちこちスナップ

「ここは、どこでしょう？」
～耐震工事中の第一地区分館～

平成30年3月31日閉館
「さよなら、蔵春閣」
蔵春閣を会場として行う最後の講座

第1・2回の講師 西沢安彦さん

第1回	平成30年1月17日(水) 14時～15時30分	内容 「近代からの城山公園周辺の歴史」 第1回と第2回の講師 長野市公文書館 主任専門主事 西沢 安彦 さん	定員 50名
第2回	平成30年3月22日(木) 14時～15時30分	内容 「蔵春閣(城山館)の歴史」	定員 50名
第3回	平成30年3月31日(土) 10時～15時	内容 「昔の蔵春閣を体験」 1部 「蔵春閣の思い出を語る」10時～11時 2部 「さよならパーティー」 11時半～15時 ※2部に参加される方のみ参加費2,000円。1部の参加は無料。定員 20名	

※お申し込みは城山公民館 ☎232-3111 まで(平日)

中学生の娘が、部活動での目標だった「東海大会進出」を果たしただけでも驚きでした。そして、全国大会への切符をいただいた瞬間、思わず涙したことが、娘には内緒です。貴重な体験になることでしょう。心の中でガンバレ〜!!と応援しています。

編集後記

子どもたちは様々な体験を通して人と繋がりが学び、成長していきます。城山公民館が子どもたちにも身近なものになっていくことを願っています。(角田)

城山公民館 図書室

新刊図書のご案内

※他にもご希望の本がありましたら、お問い合わせください。

『嘘みたくない本当の話』	内田 樹
『奇跡の脳』	シル・ボルト・テイラー
『遠縁の女』	青山 文平
『横濱エトランゼ』	大崎 梢
『嘘と人形』	岩井志麻子
『化身の哭く森』	吉田 恭教
『生物と無生物のあいだ』	福岡 伸一
『服従』	ミシェル・ウエルベック
『決戦! 関ヶ原 2』	葉室 麟 ほか
『あらしのよるに』	きむらゆういち
『切り紙でつくる季節の花図鑑』	大原まゆみ